

令和元年度 大阪府在宅医療移行支援事業（在宅医療普及促進事業）

日時：

A日程 令和元年11月7日（木）18時30分～20時00分 参加者 34名
場所：あいライフ春日（食堂）

B日程 令和元年11月9日（土）14時00分～15時30分 参加者 39名
場所：あいライフ春日（食堂）

講義：その人らしい生き方を支えるために

～アドバンス・ケア・プランニングを实践しよう～

講師 仏教大学保健医療技術学部看護学科 准教授 濱吉 美穂 氏

アンケート結果

研修参加者 73

アンケート回収 62 (84.9%)

1. 職種

病棟看護師	13
病院相談員	8
介護支援専門員	8
訪問看護師	4
在宅医	3
外来看護師	3
CSW	3

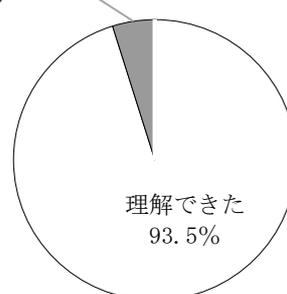
病院勤務医	1
理学療法士	1
作業療法士	1
未記入	1
退院支援看護師	0
言語聴覚士	0
その他	16

その他：薬剤師 4名、介護福祉士 4名、介護士 6名、施設相談員 2名

2. ACPについて理解できましたか

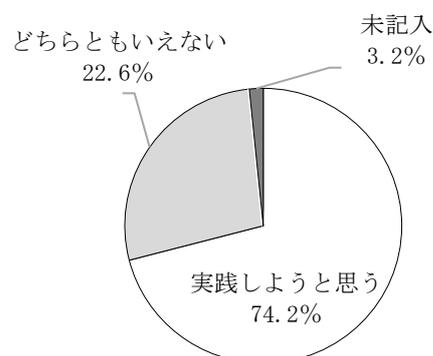
理解できた	59
どちらともいえない	3
理解できなかった	0
未記入	0

どちらともいえない
6.5%



3. 業務の中で今後、ACP を実践しますか

実践しようと思う	44
どちらともいえない	17
実践しようとは思わない	0
未記入	1

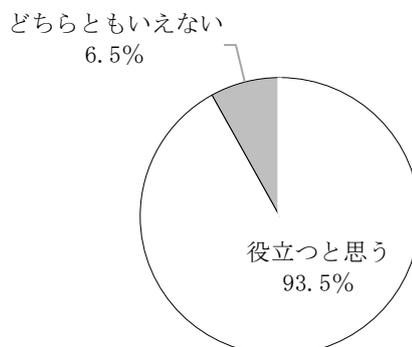


4. ACPを現場で実践するには必要なものとは

<ul style="list-style-type: none"> ・患者様、家族の理解。自分自身をもっと理解した上で時間を沢山使って説明が必要だと思うのでまだ使用できるか不安です。
<ul style="list-style-type: none"> ・実践できることを望むけど、全 Dr. スタッフに伝達する時間が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・Dr.、病棟の理解。書類
<ul style="list-style-type: none"> ・多職種スタッフの知識の共有、勉強が必要。コミュニケーションの場を増やす（多職種、患者、家族）
<ul style="list-style-type: none"> ・自身の考え方について見直す機会にもなりました。今後、リハビリ実施の中で今後についてお聞きしていこうと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な方法を学べ、患者や家族から話を伺うコミュニケーション技法について勉強になりました。
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅支援する中で、ご本人やご家族の意向を確認する場面はありますが、最期どうしたいかというところまで話をするというのは少し勇気が必要です。こうした研修を受けていくと話をするきっかけとして役に立ちます。
<ul style="list-style-type: none"> ・今はまだそのような方のかかわりはないですが、多職種で関わっていくことで、その人びとのチームとなっていく事の大切を学ばせていただきました。また、自分のことや家族についても考えていきたいと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族との信頼関係。ツール。
<ul style="list-style-type: none"> ・患者様と直接ゆっくり話をする時間が中々取れない事があり、ご本人の意志が理解できないケースが多いのでご家族とのコミュニケーションを多くとれるようにする必要があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が比較的元気。デイサービスなので正直、実感が湧かない。
<ul style="list-style-type: none"> ・難しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・他部署、及び、多くのスタッフとの連携。
<ul style="list-style-type: none"> ・他職種との連携。
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが大変。
<ul style="list-style-type: none"> ・病院外来で話をする時間の確保が中々難しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・医療面が先頭に立ち行っていく必要があるのではと感じました。→介護面から意見は言いにくいから。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身で考える事は可能だが、利用者には信頼関係も成立していないと難しい。

5. 今回の研修は、今後の業務に役立つか

役立つと思う	57
どちらともいえない	5
役立つと思う	0
未記入	0



6. 今回の研修が今後の業務に役立つと思う理由

・お互いが理解した上でする事ですごくスムーズに納得いくだろうと思う。
・業務というよりか、自分であったり、親について役に立つ。聞いてみようと思いました。
・病院は生物学的説明を主軸に考える事が多い。ACP を活用して、質を主軸に考えられるようにしていけると思いました。
・他の職種の人の方での考えが聞けたから。普段、流れ作業のように仕事をしてしまう時があるので、見直すきっかけになった。
・ACP を活用して、その人の生き方、今後の人生の最期をどう考えているか、わかりあえるのではないかと思います。
・訪問している中で今回の事例の様な状態で関わりを持っている方などがいる為。
・入院時、CPR は確認しているが、もっと深く話し合うことが必要と思う。
・患者の意志を尊重できるから。
・今後、法人内で勉強会をしていきたいと思ひます。
・治療の選択を迫られた時、本人の意志がしっかり聞けていないと、関わる者全てがモヤモヤの中でその後を生きていかないといけないから。
・業務の中で既に行っていた為、タイミングや話の切り出し方など、難しいと考へていました。実践していこうと思ひます。手帳を使わせていただきます。
・ACP について考へるきっかけになった。今後、ACP について考へて業務に取り組みたい。
・COPD の進行を理解できない患者さんを担当している。
・施設での利用者の看取りも行っており、その際の対応時にも今日の考へ方は活かせると思へます。
・自分の立場ではどうすればいいかを考へるきっかけになりました。
・自分の意識が変わる深いものだった。
・在宅から施設入居という大きな決断をされる、本人、家族様の相談にあたる立場として、最後まで尊厳ある暮らしを多職種で考へて提案していきたい。
・生き方と死には共通していることを再確認しました。
・家族、本人との退院前カンファレンスのときの話し合いの中で実践するようにしていきたいと思ひます。
・ACP 実践のためのきっかけになりました。
・在宅医の心構えの糧になる。
・療養病棟勤務なので特に身近な研修でした。

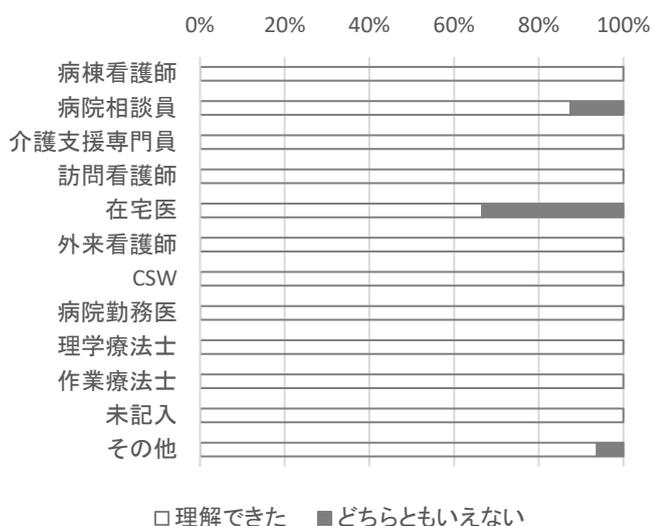
・多職種で話し合える機会になりました。業種によって考え方が違うということがよくわかりました。
・今後、自分と関わる人（家族含め）に使っていきたいです。
・意思決定を本人が出来る様、家族とも関わりたいと思う。
・ACP を意識して記録に残していきたいと思います。
・病棟でまた働く機会があれば、必要性を理解した上でカンファレンス出来るから。
・いろんな現場の意見が聞けたので良かったです。
・在宅にて看取りをする患者様が多く、今後について役立てたいと思いました。
・とても良い講義でした。色々な考え方があるのに再認識がありました。
・意思決定支援のコミュニケーション方法と医療者の考えるべきこと。
・病院の相談員だから自分の家族のことから考えて行きたい。
・今後、行っていこうと思っている。
・本人の気持ち、考えを知る事ができる。
・目先のサービスばかり考えがちになっているので望む暮らし、最期を見据える事も大事だと思いました。
・高齢者支援では難しいと思う。
・利用者及び、ご家族にとって重要な決断になるが、同時に安心した生活を送るきっかけとなる。
・在宅、外来でも長期にお付き合いする方も多いため、考え方を整理した方が良いと思う方もいるため。
・患者様は生活の事でも色々と悩み、薬局で打ち明ける事も多いので、ACP の事を提言してより良い生活を送れる様に手助けできると思います。
・本人が死をどうとらえているか、どのような最期を迎えたいかを繰り返し考え、支援者とも共有することで本人にとってよりよい生活を支えられると思ったため。
・自分で考えていること以外でも、いろいろな意見を聞くことにより、理解し、こういう意見もあるんだととても参考になりました。
・ご自分の家族の事、今後の事を考えさせられました。勉強になりました。

職種別のアンケート結果

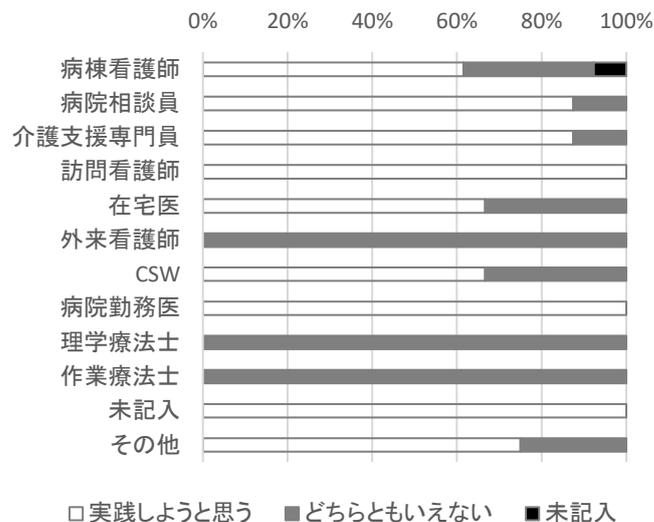
	2. ACP への理解		3. ACP の実践			5. 今後の業務に役立つか	
	理解できた	どちらともいえない	実践しようと思う	どちらともいえない	未記入	役立つかと思う	どちらともいえない
病棟看護師	13	0	8	4	1	12	1
病院相談員	7	1	7	1	0	8	0
介護支援専門員	8	0	7	1	0	8	0
訪問看護師	4	0	4	0	0	4	0
在宅医	2	1	2	1	0	3	0
外来看護師	3	0	0	3	0	2	1
CSW	3	0	2	1	0	3	0

病院勤務医	1	0	1	0	0	1	0
理学療法士	1	0	0	1	0	1	0
作業療法士	1	0	0	1	0	1	0
未記入	1	0	1	0	0	1	0
その他	15	1	12	4	0	13	3

2. ACPへの理解



3. ACPの実践



5. 今後の業務に役立つか

